県政報告
ひでしの
「実績で勝負」82

県立三ツ池公園のプール等で暑さ対策を実現

公明党　鈴木ひでし

モットーは「まかせて安心！いのちと生活を守る！鈴木ひでし」。

第109代神奈川県議会副議長、県監査委員、公明党県議団団長などを歴任。現在、文教常任委員会、予算委員会

HP http://www.hideshi-suzuki.com/

県立三ツ池公園の屋外プールが先週7月8日、オープンしました。夏の日差しのもと、子どもたちが安全にプールを楽しみ、元気な声が聞こえてくることを期待しています（プールの開設期間は8月31日まで）。

プールサイドに日よけスペースを増設

同園のプールは、2019年に供給管が老朽化により破損し、漏水が発生していることが判明したため、修繕工事が行われました。その後はコロナ禍で中止が続いていましたが、昨年4年ぶりに再開しました。

その際、私のもとには「プールサイドに日影が少ない」「公園内に屋根のある休憩施設や涼める場所が少ない」といった切実な声を頂いておりました。その要望を県の当局に伝え、今回のオープンに合わせて対応することになりましたのでご報告させていただきます。

まずは、「プール内で涼める場所」について、プールサイドにすだれなどの日よけやテントを設置します（上の写真の赤枠の施設の屋根にすだれ等を設置）。

園全体でも暑さ対策を実施

そして、「公園内の涼める場所」については、パークセンター付近にタープを設置し、利用者が涼める休憩スペースを増設します。

また、公園南側にある「水の広場」周辺の流れ部付近に、水が噴き出すスプリンクラーを新たに設置し、子どもたちが涼を楽しめるスペースを設けます。稼働時期は、7月中旬からの夏場の土日で、時間帯は午前10時ごろから午後2時ごろを予定しています。

タープ設置のイメージ

水の広場の話では、親水スペースの泥やコケを取り除く洗浄を昨年末に行ってもらいました。更なる衛生面の管理も当局に要望していますので、ぜひ安心してご利用いただければと思います。

今夏も猛暑が予測されていますが、ようやくコロナ禍が明けて楽しめる夏になります。今回の対策によって、子どもからご年配まで、同園を訪れる方々が安全で快適に過ごせるようになればと思います。

県立三ツ池公園は都会の中にありながら、みどり豊かな自然を感じることができる公園です。同園が地域の憩いの場として、より多くの方に親しまれるよう引き続き改善を求めていきますので、ぜひお声をお聞かせください。